

## 第2回 吉田島高等学校運営協議会議事録

令和4年10月29日 10:00～ 本館1階 第1理科実験室

### 1. 開会

- ・副校長挨拶により開会

### 2. 校長挨拶 (岩崎校長)

みなさまおはようございます。第2回吉田島高等学校運営協議会にご参加いただきありがとうございます。会場は本日、文化祭との同時平行開催ということもあり、理科室にて開催させていただきますことにご理解をお願いします。

文化祭に合わせて吉田島高等学校運営協議会を開催する趣旨としましては、生徒の生き生きとした姿、調理をはじめ、今まで頑張ってきた姿を皆様にもぜひ見ていただきたいと思います。協議会終了後は、時間の許される範囲で校内の活動の様子を見て帰っていただきたいと思います。

さて、本校も年度が始まり、すでに半期が終わり、折り返し地点に入りました。それぞれの専門教育の充実のために日々教育活動を行っております。令和6年度には本校が全国家庭クラブ全国大会の幹事校になります。昨日10月28日にも山形まで赴き、引継ぎを行ってまいりました。令和6年に向けて本校が中心となって大会運営に携わっていくこととなります。緊張感をもって準備を進めていきたいと思っております。

また、すでにみなさまもご承知のことと思っておりますが、県立高校改革の第3期の発表がありました。県西地区におきましては、大井高校、小田原城北工業高校の2校が再編統合ということになりました。県立高校改革は、生徒数減少のもと、現在の県立高校を再編統合するという形で進んでいますが、本校は、1期の改革校ということで、総合学科高校から、農業と家庭科を併置する専門学科ということで改編してスタートしています。こうした中、学校運営協議会の場で、ぜひ皆様方から、本校の教育課程につきましているいろいろご助言を賜りたいと思っております。

本日は、中間の評価をしていただくために資料を事前に送らせていただきました。後ほど、担当の職員より説明をさせていただきますが、皆様の厳しい目で学校の教育活動にたいする評価を頂きたいと思っております。

### 3. 委員の紹介及び委嘱

- ・副校長より「吉田島高等学校運営協議会」名簿に沿って委員の紹介。
- ・校長より委員の新委員（天野委員・山口委員）に教育委員会からの委嘱状を手渡す。

### 4. 事務局紹介

(自己紹介)

- ・配付資料の確認。
- ・「令和4年度 第2回 吉田島高等学校運営協議会 次第」の確認。

## 5. 協議

### (1) 令和4年度 学校評価報告（中間報告）

#### ①教育課程、学習指導

（学事グループリーダー 阿出川総括教諭）

1年間の目標は、専門学科の特長を生かした教育課程の検討と多様な教育機会を用い学びの充実を図ることである。具体的な方策としては、外部機関との連携を図り、専門学科ならではの教育環境の充実を図ることである。取組としては、認知理論に基づく学指導法を授業に取り入れ、生徒の学習改善につなげることができるよう実践してきた。具体的には、外部機関である学習支援研究機構の一員でもある横浜国立大学教育学部の鈴木先生にご指導いただき、実際に本校の授業を見て、ご意見をいただいた。今後、生徒の学力と学習力をさらに育てていけるよう学習支援研究機構とも連携しながら、現行の教育課程を検証していくとともに、教員の授業力向上を図っていききたいと思う。

（企画情報グループリーダー 露木総括教諭）

今年度4月より、新入生は1人1台パソコンが導入され、ICTの利活用を通じて生徒の主体的な学びを促し、基礎学力の向上を目標に掲げ、効果的な授業づくりなどの研修会や学び直しについての研究会を開催するようしてきた。教員も1台ずつの情報端末を持ち、授業等で利用している。

7月に行われた第1回生徒による授業評価報告書を見てもらうとわかるとおり、項目4「授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。」の項目で、「かなり当てはまる」・「ほぼ当てはまる」の割合が85%以上いた。今後もさらに充実した授業環境・授業内容を目指していききたいと思う。

また、OKJ「教えて考えさせる授業」に関する研究授業も行われ、職員間でも活発な意見交換が行われた。各教科でも、授業の在り方などについて話し合いが行われるようになった。

（生徒活動グループリーダー 高梨総括教諭）

今年度の体育祭は、実行委員会と話し合い、2日間に分けて開催した。生徒同士が協力して無事終了することができた。本日の文化祭についても、職員と生徒とで話し合い、服装や頭髪等についても事前に確認し合い、生徒と一緒に会場を回ったりすることで、楽しいものにしていききたいと思っている。

（佐藤 委員）

いつもありがとうございます。授業評価のデータを拝見させていただいた。ざっとみると、やはり、2年生で少し低くなっているところもあるが、学年が上がってくるにつれて、項目の9や10では、やはり緊張感が緩んでいるようにも見えるが、これは、学校生活にも慣れ、余裕が生まれているとも捉えることができるので、こうした成長も効果的に捉えることができる。先生方も非常にご苦労されているなと感じた。

また、子供たちの学習については項目4や7について、自ら学習について取り組んでいるように感じる。先生方の授業づくりの賜物だと感じている。どの評価項目も、「かなり当てはまる」・「ほぼ当てはまる」の割合が80%を超えているのは、かなり難しいことだと思っている。これは、着実に高校生となって成長し続けているな、授業も面白く感じているなど見せていただいている。教職員の方々も一丸となって努力され、充実されているなど感じている。

(岩崎校長)

それぞれのグループから報告があったが、新学習指導要領の改訂で、生徒による授業評価に関して、生徒が評価するとともに、私たち教職員が子供たちにどう授業を教えられるのか、振り返ることにより授業改善につなげることが大きなウェイトを占めている。そのような中で、ここにも1つのワードとして“OKJ”がある。今年度より本格的に「教えて考えさせる授業」を実践することにより、生徒の思考力を深化させるために、学習活動の中に考えさせ場面を取り入れられてきている。しかしながら、「考えさせる」ためには基本的な知識をしっかりと身に付けている必要があり、授業活動の中で考えさせるばかりでは生徒が理解できない。教えて考えさせる授業というのは、授業の中で、先ずしっかりと教える。教える時間をつくったうえで、考えさせる授業を展開していく。そういった授業の組み立て方を中心に、生徒にどう理解を深めさせていくのか、横浜国大の先生と連携しながら授業研究を行っている。この10月には実際に各教科の授業を行い全職員が見学し、その後、研究協議会を行い、農業や家庭の専門教科を含み、それぞれの教科でOKJのスタイルで授業を行ったときに、どれだけ理解が深まるかといった研究も進めている。

(熊沢会長)

生徒が「身に付いたな」ということを実感しているということは、すばらしいことと思う。これは各教職員の皆さんが、いろいろ努力された成果だと思う。

## ②生徒指導・支援

(生徒指導・支援グループリーダー 小澤総括教諭)

本年度の目標が、「生徒指導内規や校則について、生徒の実態やニーズに合っているかどうかの検証する」とことと、「支援が必要な生徒について、外部教育機関との連携を図り組織的な相談体制を構築する」となっている。内規や校則については、見直しをし、制服の着用のルールなど変更できる部分は、職員会議などで検討したところである。ただし、現時点でこの内規や校則等を見ていくとまだ変更・改訂していく必要があるところも多々見受けられるので、今年度はこの部分を重点的に変更していこうと考えている。

また、生徒支援が必要な生徒には、順次必要な外部機関と連携をとることによって必要な生徒には支援ができていないのではないかと思う。しかしながら、組織的・系統だったマニュアルのようなものがないので、そうしたものを作成していきたいと考えている。

(天野委員)

今年度の生徒支援関係の講演会はどのようなものを行ったのか。

(生徒指導・支援グループリーダー 小澤総括教諭)

年度の初めに、LINEの方を講師に招き「SNSの使い方」の講演会を行った。送り方によって受け取りで誤解を招く恐れがあることや、自分たちがアップした動画や画像などがどのように受け取られるかについて、生徒一人ひとりにわかってもらうような内容であった。

また、制服の着用について、契約業者であるトンボから講師を招き、制服の概念や、校則通りに着用するとデザイン的にきれいに見えることなど、基本的な着用の仕方を学んだ。

いじめについては、先ほどの「SNSの使い方」講座や他の外部機関を利用して、他者理解をするための講座を実施してきたが、ONLINEでの開催のため、ただ聞いているだけで終わってしまうことも考えられるので、来年度に向けては、どうしたら生徒自身が「自分のこととし

て聞けるのか」改善していきたいと思う。

(鳥海委員)

実際、吉田島高校ではいじめの案件はあるか。

(生徒指導・支援グループリーダー 小澤総括教諭)

校内で認定した案件は、SNS を中心にしたトラブル等何件かある。

いじめ案件が発生した場合は、先ず県に報告をし、生徒指導部として、それぞれ関わった生徒には、状況確認をしたうえで必要に応じた指導を行い、当該生徒にはケアをしている。

(岩崎校長)

SNS でのいじめと捉えられる書き込みが見られるが、正しい情報かどうかの線引きが難しい。通信機器を通してのコミュニケーションによって人間関係が悪化している。いじめと感ずることがあったら、教職員に相談してほしいと伝えている。学校では生徒本人がいじめと捉えたら、いじめ対策会議等で対応している。いじめ案件の報道等では結果や過程が伝わらないケースが多いが、各学校で様々な形で対応しているケースが多くある。コミュニケーションの難しさにより、いじめという言葉で集約されるが、生徒支援や生徒指導の課題として捉えている。

### ③進路指導・支援

(キャリアグループリーダー 片山総括教諭)

3年次生が就職活動中であり、就職希望生徒が50名程度である。そのうち、内定者が30名程度、現在活動中が3名程度、他の生徒は声をかけても活動しない状況にある。進学については、来月より学校推薦が始まり、指定校推薦で10名程度、一般推薦で6名程度が受験する。

年間計画では「ひとりひとりの進路を自分でみつめて考えていく」という目標で1・2年次生が主体で、進路ガイダンスを実施している。進路ガイダンスには、前向きに取り組んでおり、良好な結果が得られている。しかし、日常の活動に生かしていない生徒が多く見受けられる。インターンシップには環境緑地科土木コースの3名が参加した。夏休み期間中の実施であるため、アルバイトなどを優先している傾向がある。将来公務員を目指している生徒は、目標をもって活動している。そのための支援強化をしている。社会人の講話については、政治参加や18才成人の話には、生徒自身が話を聞くことが難しい。卒業後のことを考え、前向きに考えさせるように指導していく。

(山口委員)

生徒自身がインターンシップで将来の目標が定められた。現状、目標がない生徒が多く、「とりあえず」で行動する生徒が多い。課題改善の方法を具体的にしてほしい。講演会などにより目標値が高められるような指導がほしい。生徒自身が生の声を聴ける機会があれば、生徒自身も吸収できる。専門高校の強みを生かした改善策をしてほしい。

(岩崎校長)

高校生で目的意識を持たすのは難しいと思います。高校としてどのように醸成させるか。大学生でさえ難しい。学校としてはいろいろな機会を与えていきたい。

(キャリアグループリーダー 片山総括教諭)

吉田島高校の生徒は携帯電話の料金を支払うためにアルバイトをしている。  
部活に加入すべきとは思いますが、目先のアルバイトが大切になってしまっている。

#### ④地域等との協働

(専門教育・広報グループリーダー 宮本総括教諭)

学校説明会を県政地区の合同説明会を8月に行った。本校だけでも8月に学校説明会が実施できた。12月にも開催予定している。

小田原地区の4校の中学校から依頼があり、学校説明会に伺った。そのような点では中学校との連携ができていると思う。その他農業科等でも、中学や幼稚園等とも連携することができる。

(熊沢会長)

地域等の共同でご意見在りますか。

(岩崎校長)

本当であれば本日の学校祭も中学生に来てもらいたいがコロナの関係で呼べていない。

早く呼べるようになり、ぜひ来校し体験してほしいと思う。実際に体験すると中学生の意識は変わる。体験入学に関しては11月12月に実施するので来てもらいたい。HPの情報では伝わらない部分があるので是非参加してほしい。

#### ⑤学校管理、学校運営

(管理グループリーダー 菊池総括教諭)

開成町防災担当者との連携は、9月に打ち合わせを行い、本校と開成町との協定の確認をした。3月実施予定の防災訓練では開成町の防災担当に相談しながら検討している。校内の各教室の安全点検を行い、結果をもとに整備計画を作成した。今年の重点的な整備として、教室のロッカーや棚の固定を行った。また12月～1月に安全点検を行い、不備等がないかの確認を行う。

(熊沢会長)

修理費等の予算が少ないのでなかなか難しいと思う。

以上で中間報告についての協議を終了する。

## 6 報告事項

(1年次リーダー 小澤総括教諭)

145名入学しまして、進路変更を考えている生徒やすでに進路変更をした生徒もいる。入学しても想像とは違ったということで進路変更をしてしまう生徒が多い。中学では登校できなかった生徒が高校でも出席できていない。

各学科で活躍していきたい生徒が多数いるので来年からの指導に役立てていきたい。

(3年次リーダー 露木総括教諭)

進路実現に向け頑張っている。まだ決まらない人も担任と相談しながら頑張っている。コロナの影響で修学旅行に行けなかったから文化祭は楽しんでほしい。

雰囲気は、年次が上がるにつれて落ち着いてきていると思う。

(2年次 尾尻教頭)

中間の学年で学科ごとのクラスになった。年度当初はクラス替えがあり、コミュニケーションの難しさがあった。

10月4日から修学旅行に行った。参加した生徒には、担任との意思疎通などの面で成長が見られた。

文化祭では学科ごとの出し物に取り組んでいる。

支援の必要な生徒は多くいるが、生徒支援グループと連携をとりながら支援を考えていきたい。進路実現に向け、今のうちから考えていきたい。

## 7 その他

(中川副校長)

本日皆様からいただいた様々なご意見を今後の学校運営に生かしていきたい。

本日の記録についてはまとまり次第送付させていただくとともに、HPに掲載させていただく。

(岩崎校長)

ご意見ありがとうございます。各科にて地域産業の担い手を育成するミッションがある。ご意見を参考に指導していきたいと思う。

また至誠勤労という校訓ですが、校長室の中にあった肖像画を外に出し、至誠勤労について掲示した。校訓をグラウンドデザインとともに生徒に意識させたい。今後のご意見等ありましたらよろしく願いいたします。

○次回の吉高運営協議会日程確認

・第3回 令和5年3月20日(月) 15:00～

## 8 閉会

副校長挨拶により閉会

## 9 文化祭見学